

啄木のふるさと

『もりおかの短歌』

平成二十一年度

冬の部 優秀賞発表

優秀賞 十首

「啄木のふるさと」『もりおかの短歌』は、啄木が生まれ育った盛岡を訪れる観光客や市民が啄木短歌の特徴である『三行書き』の短歌づくりを通じて『短歌のまち もりおか』を推進することを目的に実施している事業です。

年間を4つの期間（夏の部・秋の部・冬の部・春の部）に分け募集。12月から2月まで募集した冬の部にも、これまでと同様、観光客や市民の方々から多くの短歌が投稿され、この度優秀賞10首が選定されました。

投稿箱は、当所や盛岡市役所、啄木関連の観光施設、市内ホテルなどに設置しており、現在は春の部を募集しておりますので、啄木になった気分で行書きの短歌に一度挑戦してみてくださいいかがですか。



市内ホテル等に設置されている投稿ボックス

渋民の
学び舎の窓雪模様
チヨークの走る音がきこえる
宮城県仙台市 阿部 堅市

ひと本の庭の小花を
たずさえて
再び訪わん啄木の忌に
奈良県奈良市 梅本 幸子

啄木の歩みし道を
思いつつ行けば
木の葉のはらりと音す
奈良県奈良市 梅本 幸子

新雪とは
こんなやさしき音すなり
もしや節子の声かと思ふ
奈良県奈良市 梅本 幸子

杉土手の光る小枝は
天使のとまり木
つららのラッパ吹いて遊べり
岩手県盛岡市 梅津 ますみ

白無垢の花嫁のごと
上の橋擬宝珠の
薄く雪化粧せり
岩手県盛岡市 鈴木 充

乗り継いで
夜更の駅に降り立てば
歌うがごとき人の声する
京都府福知山市 足立 直子

京都府福知山市 足立 直子

ふりむきて
北上に立つひとり旅
この地で始めこの地で終わらん
京都府福知山市 足立 直子

上の橋擬宝珠の橋に綿帽子
温もり伝う
雪の朝かな
岩手県盛岡市 三澤 信裕

岩手山北上川に癒されて
啄木を愛し
七十路過ぎる
岩手県盛岡市 花坂 俊子

平成二十一年度 冬の部
投稿数 百二十七首
選者 山本 玲子氏

選者 山本 玲子氏